迪

すみ 金かね ってみ が かは な い ボ たの の 口 が 屋や は 最が 良ょ初は 得体の 0) 縁え で 知しど ħ

思^ぉ ば遠く 来たもんだ

一の年目が

か一絡げ

ヤレ

æ

自分は違うと言ってはみたが気付けば朝寝に高いびきなれた。

ァ 明ぁ 日ぉ :から頑張るぞ ヤレ

サ

た交われば朱くなる

同じ 団悪 は なより 能は には 突と でんぐり には 突と 突然り には突っ [を 飲。三 ド ンパ み 大き上げ時に たき の方が上れ 飲の と突っ張 み 話な もす 記には日で ヤ 的合き ħ 和よい

ŋ

せ い くらべ

長な四

い

、 と 思 ぉ

つ

7

11

T

も

避さけ 苦く時じ先き楽を間かは へを伴に住 Ć の 経^た は 通為 つ 0 れ ぬ 6 は 別か では 早ゃ れ い 道な い も たが 0) ヤ

は 異い な も Ō 味む な も 0

> 井関 城 雄 俊 太 介 君 君 作 作 歌 曲